

「難治性ホジキンリンパ腫における救援科学療法・自家造血幹細胞移植併用大量科学療法の後方視的検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

西暦2002年1月1日～2021年12月31日までに、当院でホジキンリンパ腫と診断され、初回の抗がん剤での化学療法で、十分な効果が得られなかった患者さんまたは再発された患者さんに、新たに別の抗がん剤で化学療法および自家末梢血造血幹細胞移植を施行された難治性のホジキンリンパ腫の方を対象としております。

2. 研究の目的

再発・難治性ホジキンリンパ腫における救援化学療法・自家造血幹細胞移植を後方視的に解析し、予後予測因子を検討します。

3. 研究期間

自機関の長の実施許可日～ 2025年 3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2022年3月3日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

本研究は、通常の診療として行われ、得られた診療情報を使用いたします。

《本研究で取得する診療情報》

年齢、性別、喫煙歴、臨床病期、全身状態（PS: performance status）、身長、体重、血液検査所見、病理情報（組織亜型分類（古典的ホジキンリンパ腫またはリンパ球豊富型ホジキンリンパ腫）、細胞表面マーカー、免疫組織染色、画像情報、化学療法の治療経過、

各治療における再発確認日、生存確認日、死亡確認日、移植後療法の投薬情報、放射線治療および後治療の有無と種類等

この研究で得られた患者さんの情報は、総合医療センター血液内科において、研究責任者である永沼謙が管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

本研究は、通常の診療として行われ、得られた診療情報を使用いたします。過去の情報のみを利用するため、研究用に新たな情報の取得や、血液検体等の試料を採取することはありません。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究機関名：埼玉医科大学総合医療センター

研究責任者：血液内科 助教 永沼謙

研究実施者：血液内科 客員教授 木崎昌弘

血液内科 教授 多林孝之

血液内科 助教 高橋康之

病理部 教授 東守洋

病理部 教授 百瀬修二

4. 試料・情報の管理責任者

< 提供元機関 > 埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください

埼玉医科大学総合医療センター血液内科

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3471(血液内科直通)（土日祝日を除く 10:00～16:00）

担当：永沼謙

メールアドレス：k_naganu@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：難治性ホジキンリンパ腫における救済化学療法・自家造血幹細胞移植併用大量化学療法の後方視的検討